

特集

生きがい

1

いつまでも楽しく学び続ける、
という喜びを大切に

問い合わせ先

総務課広報男女参画係 (☎0511内線155・156)

生きがいを持つことは大きな幸せです。自分が好きなことややりたいこと、幸福感を得られるものが、生きがいと呼べるものではないでしょうか。生きがいは、夢や目標であったり、人の役に立っていることだったり、自分を活かせることや充実感を感じられることなどさまざまです。本市の各公民館には、多種多様な生涯学習の機会が設けられています。実際に公民館で活動しているかたに、一生懸命に取り組んでいることについて伺いました。



中央公民館フェスティバルでの書道展示



左から佐々木さん、前川さん、石倉さん

中央公民館の寿大学で習字を選択して活動している、佐々木ハナさん(90歳)、前川カヨさん(90歳)、石倉三次郎さん(90歳)に習字の楽しさや魅力について伺いました。

習字仲間や友達に会うことができる寿大学に参加することが楽しいです。また、用事などで1回休むと、心配して電話をしてくれる友達ができたことも貴重な財産です。

毎月の課題に取り組み、次の月には朱字で添削されてきた見本を見直し、練習を続けることで、だんだんと上達する過程が楽しくて20年以上も続けることができました。今では条幅は最高の腕前となりました。そして、たくさんある作品の中から、一番うまくできた作品や思い出深い作品を中央公民館フェスティバルに提出し、展示しています。習字の先生はもとより、ほかの公民館の習字仲間からの評価も楽しみにしています。わたしたちは、公民館の活動を通して、人生の生きがいと貴重な友人を得ることができました。これからも楽しく、元気に中央公民館で活動していきたいと思っています。

※条幅とは縦書きの書の形式の一つです。



自分で修正した写真を飾っています



パソコンとデジタルカメラが趣味

十和田湖公民館のろまん大学でパソコンクラブの一員として活動している長谷地行春さん(87歳)。70歳からはワープロを、80歳からパソコンを始めたといいます。そんな長谷地さんにお話を伺いました。

80歳のときにパソコンの講習会に参加したのがきっかけでパソコンを購入して、徐々に上達して今に至ります。

パソコンは毎日2時間以上使うようにしています。今ではデジタルカメラで撮った写真をパソコンで補正したり、編集したりしています。撮影した写真はスライドショーに加工して、テレビでも見れるようにしています。今では、DVDが100枚ほどあります。

ろまん大学ではパソコンクラブに所属し、毎回一つずつ新しいことを覚えることを目標としています。

今後は、十和田湖・奥入瀬溪流の四季折々の写真を撮り、写真集を作りたいと思います。